OLYMPUS®

ボイストレック
V-22
JP 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

失敗のない録音をするために試し録りをしてください。

保 証 書

本書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。お買い上げの日から1年以内に故障した場合は本書をご提示の上お買い上げの販売店または当社サービスステーションに修理をご依頼ください。

	無料修理保証期間	部　品　代	修　理　工　料
本　　体	1年	無　　料	
品　　名	ボイストレック	型　　名	V-22
シリアルNo.		お買い上げ日	年　月　日
販売店名	無　効		

アクセサリー（別売）：
ステレオマイクロホン：ME51SW／**2チャンネルマイクロホン（全指向性）**：ME30W／**モノラルマイクロホン（単一指向性）**：ME52W／**モノラルタイピンマイク（全指向性）**：ME15／**テレホンピックアップ**：TP7／**単4形ニッケル水素充電池・充電器セット**：BC400／**単4形ニッケル水素充電池**：BR401／**コネクティングコード**：KA333／**USB延長ケーブル**：KP19

<保証規定>
1. この保証書は、取扱説明書、品質表示ラベル等の注意書にしたがった正常なお取扱いにより発生した故障に対して、お買い上げ日から満一年間、当社が無料修理の責任を負うことを保証するものです。
2. 有効期間内に故障して無料修理を受けられる場合は、商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店又は別紙の当社サービスステーションに依頼してください。
3. 販売店、または当社サービスステーションにご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。製品を送る場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。また販売店と当社間の運賃諸掛につきましては、輸送方法によって（問屋便以外を使用した場合）一部ご負担いただく場合があります。
4. ご転居、ご贈答品等でお買い上げ販売店に依頼できない場合は、最寄りの当社サービスステーションにお問い合わせください。
5. この保証書は、本書に明示した期間、条件の元において無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書は、オリンパスイメージング株式会社、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
6. 本製品の故障に起因する付随的損害（録音、再生に要した諸費用及び録音、再生により得べかりし利益の損失等）については保証致しかねます。
7. 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
   イ. ご使用上の誤り及び当社サービスステーション及び指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解・掃除等による故障。
   ロ. お買い上げ後の輸送、落下等による故障及び損傷。
   ハ. 火災・異常電圧・地震・水害・落雷・公害・その他、天災・地変による破損又は故障。
   ニ. 本書のご提示がない場合。
   ホ. 本書にお買い上げ年月日、シリアルNo.、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   ヘ. 電池等の消耗品による故障。
8. 保証の対象は本体のみです。

<保証書取扱い上の注意>
本書は日本国内においてのみ有効です（THIS WARRANTY CARD IS VALID ONLY IN JAPAN)。
販売店名およびお買い上げ年月日が記載されていることを確認してください。記入もれがあった場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

<保証責任者・保証履行者>
オリンパス イメージング株式会社
〒163-0914
東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス

使用上のご注意：

- 録音、消去などの動作中に電池を抜くと、故障が発生し本機が御利用頂けなくなることがあります。
- 直射日光下の車の中や夏の海岸など、高温・多湿の場所に放置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
- 水気がついたら、すぐに乾いた布で水分を拭き取りましょう。特に塩分は禁物です。
- 清掃する時、アルコールやシンナーなど、有機溶剤を使用しないでください。
- テレビ・冷蔵庫などの電気製品の上や近くに置かないでください。
- 砂や泥をかぶらないようにご注意ください。修理不可能なほどの故障になることがあります。
- 強い振動やショックを与えないでください。
- 水気の多い場所で使用しないでください。
- 磁気カード（銀行のキャッシュカードなど）をスピーカーやイヤホンの近くに置くと、磁気カードに格納されたデータが異常になることがあります。

〈データ消失に関する注意事項〉
- メモリへの記録内容は誤操作、機器の故障、修理などで破壊されたり消えることがあります。
- 大切な記録内容は、あらかじめメモに書き残されることをおすすめします。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じたデータの消失による損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

J1-BS0310-02
AP0906

はじめに

- 本書の内容については将来予告なしに変更する場合があります。商品名、型番など、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の著作権はオリンパス株式会社、およびオリンパスイメージング株式会社が所有しております。本書を無断で複製したり、複製物を無断で配布したりすることは著作権法により禁じられています。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害や、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関しても、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害自主規制について：

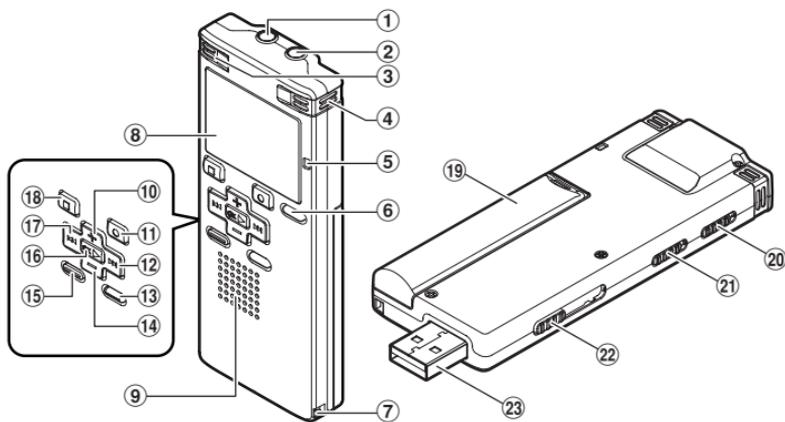
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こす場合があります。取扱説明書にしたがって正しくお使いください。

商標および登録商標について：

- ボイストレック（Voice-Trek）はオリンパス株式会社の登録商標です。
- IBM、PC/ATは、International Business Machines Corporationの商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows MediaはMicrosoft Corporationの登録商標です。
- Macintosh、iTunesは米国アップル社の商標です。

その他の本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

◆主な特長

- 音声は高能率圧縮でデジタル変換し、WMA形式のファイルとして記録、ステレオ録音とモノラル録音、合わせて6種類の録音モードが選択可能。
- 音声に反応して自動的に録音の開始・停止を行う、音声起動録音（VCVA）機能
  ノイズをカットして録音するローカットフィルタ機能を搭載
- 音声フィルタ機能を搭載。
- フルドット表示のバックライト付きディスプレイ（液晶パネル）を採用。
- 聞きたい場所をすばやく探す、インデックスマーク・テンプマーク機能搭載。
- 再生スピードをお好みに合わせて調節可能。
- 本機をパソコンのUSBポートに直接接続するだけでパソコンとの連携を行います。USBケーブルやドライバソフトを使わずにデータの転送や保存ができます。
- 本機はUSB2.0に対応しているので、パソコンにデータを高速で転送することができます。
- USBストレージクラス対応なので、パソコンの外部メモリとして、パソコンからデータの保存や読み出しができます。
  パソコンとUSB接続し、画像ファイルやテキストなどを保存できるので、データの持ち運びにもご使用いただけます。

準備

◆各部のなまえ

① **イヤホン**ジャック
② **マイク**ジャック
③ 内蔵ステレオマイク（L）
④ 内蔵ステレオマイク（R）
⑤ 録音表示ランプ
⑥ **リスト**ボタン
⑦ ストラップ取り付け部
⑧ ディスプレイ（液晶パネル）
⑨ 内蔵スピーカ
⑩ **+**ボタン
⑪ **録音●**ボタン
⑫ **▶▶I**ボタン
⑬ **メニュー**ボタン
⑭ **−**ボタン
⑮ **インデックス／消去**ボタン
⑯ OK ▶ボタン（確定／再生）
⑰ **I◀◀**ボタン
⑱ **停止■**ボタン
⑲ 電池カバー
⑳ **ホールド**スイッチ
㉑ マイク感度切り替えスイッチ
㉒ USB端子スライドレバー
㉓ USB端子

ディスプレイ（液晶パネル）：

フォルダリスト表示画面

❶ ［レコーダー］モード表示
録音／再生状態表示
電池表示
❷ フォルダ名

ファイルリスト表示画面

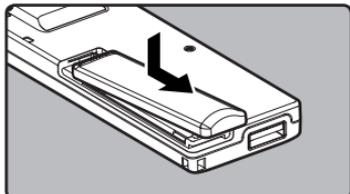
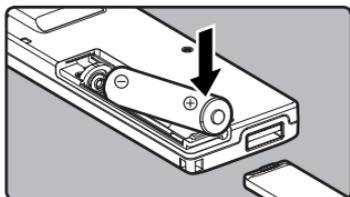
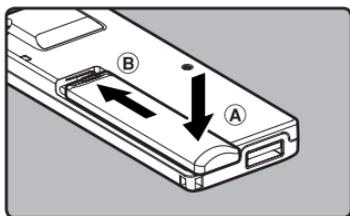
❶ フォルダ名
録音／再生状態表示
電池表示
❷ ファイル名

ファイル表示画面

❶ **ファイル名**
録音／再生状態表示
電池表示
❷ **フォルダ表示**
録音モード表示
❸ **録音時：**
メモリ残量バー表示
再生時、停止時：
再生位置バー表示

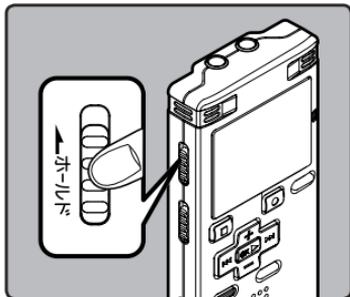
❹ **録音日時**
❺ **[H] マイク感度表示**
[VCVA] VCVA表示
[VF] 音声フィルタ表示
[LC] ローカットフィルタ表示
❻ **ファイル番号／**
フォルダ内の総ファイル数

❼ **録音時：**
録音経過時間
再生時：
再生経過時間
❽ **録音時：**
録音可能な残り時間
再生時、停止時：
ファイルの長さ
❾ **再生モード表示**

◆電池を入れる

❶ 電池ぶたを上から軽く押しながら、スライドさせて開ける
- 本機では、マンガン電池はご使用になれません。
- 電池の交換は必ず本機を停止状態にしてから行ってください。本機が録音、消去などの動作中に電池を抜くと、ファイルが再生できなくなる恐れがあります。

❷ 単4形電池の⊕と⊖を正しい向きで入れる

❸ 電池カバーをⒶの方向に押さえながら閉じて、Ⓑの方向にスライドさせ、電池カバーを完全に閉める
- 本機から電池を抜いた状態が1分以上続いたり、短い間隔で電池の出し入れを行うと、時刻の設定が必要になる場合があります。ディスプレイの［時］表示が点滅表示する場合、**「日付・時刻を合わせる [Time & Date]」**をご覧ください）。

電池表示について：

ディスプレイに［■］が表示されたら、早めに新しい電池に交換してください。
電池がなくなると、［ ］と［電池残量がありません］と表示され、動作が停止します。
- 長期間本機をご使用にならない場合、電池を取り外してください。
- 本機では、別売のオリンパス製ニッケル水素充電池をご使用いただけます。オリンパス製充電器と併せてご利用ください。ただし電池残量表示が正しく表示されない場合があります。

◆電源を入れる／切る

電源を入れる：

ホールドスイッチを、矢印と反対方向へスライドさせる
- ディスプレイが点灯し電源が入ります。

電源を切る：

停止中にホールドスイッチを、矢印の方向へスライドさせる
- ディスプレイが消灯し電源が切れます。
- レジューム機能により電源を切る前の停止位置を記憶して電源が切れます。

省電力機能について

電源を入れて停止状態のまま5分以上経過すると、ディスプレイ表示が消え、省電力モードになります。
- 省電力モードを解除するには、いずれかのボタンを押してください。

◆誤操作を防止するーホールド機能

ホールドにする：

録音中または再生中にホールドスイッチを、矢印の方向へスライドさせる
- ディスプレイに［ホールド］が表示され、ホールド状態になります。

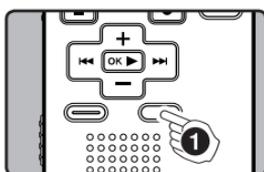
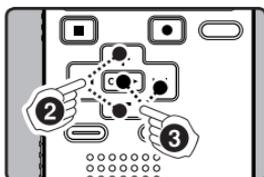
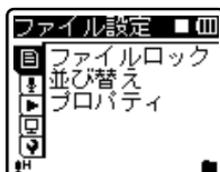
ホールドを解除する：

ホールドスイッチを矢印と反対側にスライドさせる

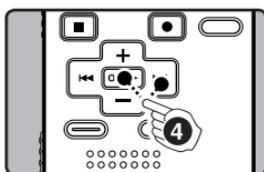
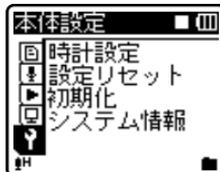
ご注意：
- ホールドの状態でいずれかのボタンを押すと、時計表示が2秒間点灯しますが動作しません。
- 再生（もしくは録音）中にホールドにすると、再生（録音）状態のまま操作ができなくなります（再生が終了したり、メモリ残量がなくなって録音が終了すると停止状態になります）。

◆日付・時刻を合わせる [Time&Date]

日付と時刻を設定しておくと、「いつ録音した」という情報がファイルごとに自動で記録されます。録音したファイルの管理を容易にするために、あらかじめ設定しておくことをおすすめします。

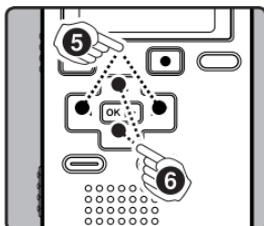
ご購入後初めてお使いになるときや電池を入れ替えた場合は、自動的に「時」表示が点滅します。手順4以降から設定してください。

❶ 停止中に**メニュー**ボタンを押す

❷ ＋または－ボタンを押して、[**本体設定**] タブを選ぶ

- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

本体設定
時計設定
設定リセット
初期化
システム情報

❸ OK ▶または▶▶Iボタンを押して、カーソルを設定項目へ移動させる。

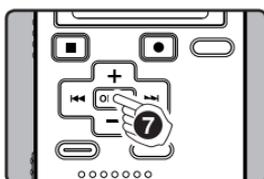
- [**本体設定**] 画面に入ります。

❹ OK ▶または▶▶Iボタンを押す

- [**時計設定**] 画面に入ります。
- 「**時**」表示が点滅します。

❺ ▶▶IまたはI◀◀ボタンを押して設定項目を選ぶ

- 「**時**」「**分**」「**年**」「**月**」「**日**」の中から、設定したい項目に点滅を合わせてください。

❻ ＋または－ボタンを押して設定する

- 以下同じように▶▶IまたはI◀◀ボタンで次の設定項目を選び、＋または－ボタンを押して設定を行います。
- 時、分の設定中、**リスト**ボタンを押すたびに、12時間表示と24時間表示が切り替わります。
- 年、月、日の設定中、**リスト**ボタンを押すたびに「**年**」「**月**」「**日**」表示の順序が切り替わります。

❼ OK ▶ボタンを押して設定を完了する

- 設定した日時で本機の時計が動き始めます。時報などに合わせて**OK** ▶ボタンを押してください。

◆フォルダとファイルの選択について

フォルダの切り替えは停止中または再生中に操作してください。

階層を戻る:

停止中または再生中にファイル表示画面で、**リスト**ボタンを押すごとに1つ上の階層に戻ります。

- リスト表示画面では、I◀◀ボタンでも操作できます。
- フォルダの階層を移動しているときに、**リスト**ボタンを押し続けると、ファイル表示画面に戻ります。

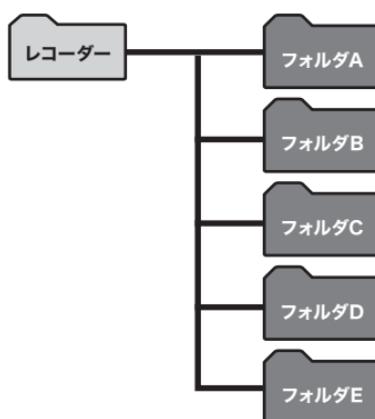
階層を進む:

リスト表示画面で、**OK** ▶ボタンを押すごとにリスト表示画面で選択したフォルダまたはファイルを開き1つ下の階層に進みます。

- リスト表示画面では、▶▶Iボタンでも操作できます。

フォルダやファイルを選ぶ:

＋または－ボタンを押してフォルダやファイルを選びます。

レコーダー
フォルダA
フォルダB
フォルダC
フォルダD
フォルダE

録音について

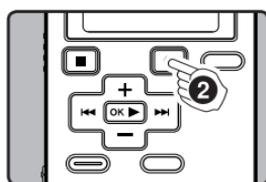
◆録音する

録音を始める前に [A] ～ [E] の音声録音用フォルダを選んでください。[A] フォルダはプライベート用、[B] フォルダはビジネス用といったように、録音する内容によって使い分けると便利です。

❶ 録音するフォルダを選ぶ

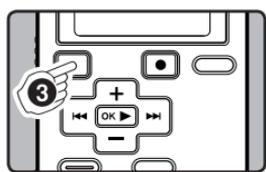
① 停止中にファイル表示画面で、**リスト**ボタンを押すと階層が1つ上に戻ります。**リスト**ボタンを繰り返し押して、フォルダリスト表示画面へ入ります。

② フォルダリスト表示画面で、+または-ボタンを押して音声録音用フォルダを選びます。せるとメニュー画面が切り替わります。

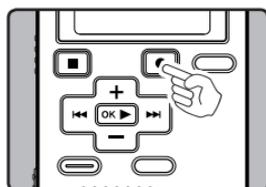
新しく録音した音声は、選択したフォルダの一番後ろのファイルとして保存されます。

❷ **録音●ボタンを押して、録音を開始する**

- 録音表示ランプが点灯し、ディスプレイの［●］が点灯します。
- 録音したい方向に内蔵ステレオマイクを向けます。

ⓐ 録音モード／ⓑ メモリ残量表示バー／ⓒ 録音経過時間／ⓓ 録音可能な残り時間／ⓔ レベルメータ（録音音量や録音機能の設定に合わせて変化します）

- 録音中は、［**録音モード**］の変更ができません。停止中に設定ください。

❸ **停止■ボタンを押して、録音を止める**

- ディスプレイの［■］が点灯します。

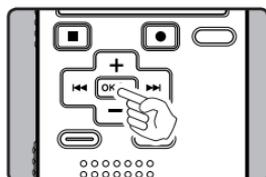
◆一時停止するには

録音中に**録音●**ボタンを押す。

- 録音一時停止のまま60分以上過ぎると停止状態になります。

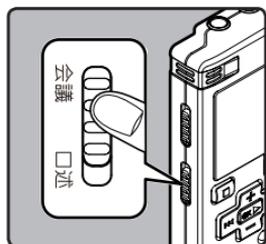
録音を再開するには：

録音●ボタンをもう一度押す。

- 一時停止したところから録音を再開します。

◆録音内容をすばやく確認するには

録音中にOK ►ボタンを押す。

- 録音を中断し、今録音したファイルが再生されます。

◆マイク感度をかえる

使用目的に合わせて内蔵ステレオマイクの感度を切り替えできます。

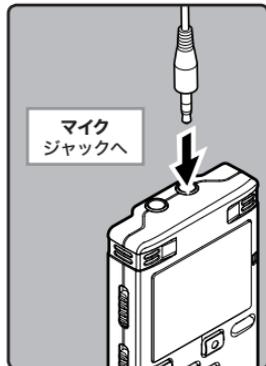
マイク感度切り替えスイッチをスライドさせて、［**会議**］または［**口述**］を選ぶ

［**会議**］：
周囲の音も録音できる高感度モードです。

［**口述**］：
口述録音に適した通常感度モードです。

ご注意：

- 話し手の声をはっきりと録音したい場合、［**口述**］にして本機の内蔵ステレオマイクを話し手の口に近づけて（5〜10cm）録音してください。

◆外部マイクや他の機器から録音する

外部マイクや他の機器を接続し、音声を録音できます。お使いになる機器により、次のように接続してください。本機のジャックへの抜き差しは、録音中に行わないでください。

本機の**マイク**ジャックに外部マイクを接続する

ご注意：

- 本機のマイクジャックに外部マイクをつなぐと、内蔵マイクは動作しなくなります。
- 本機から電源の供給を受けるプラグインパワー対応のマイクもご使用になれます。
- ［**録音モード**］をステレオ形式に設定した場合、外部モノラルマイクを接続して録音するとLチャンネルのみに音声が録音されます。
- ［**録音モード**］をモノラル形式に設定した場合、外部ステレオマイクを接続して録音するとLチャンネルマイクのみの録音となります。

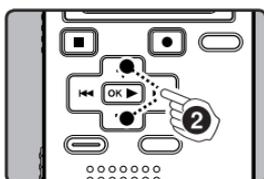
◆録音中に関するご注意

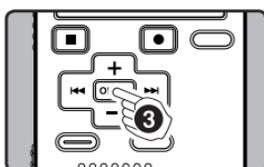
- 頭切れを防ぐために、録音表示ランプの点灯を確認してから録音を行ってください。
- 録音可能な残り時間が60秒になると、録音表示ランプが点滅を始め、30秒、10秒と残量が減るにつれて点滅が早くなります。
- ［**ファイル件数がいっぱいです**］と表示された場合、これ以上録音できません。フォルダを変更するか不要なファイルを消去してから録音をしてください。
- ［**メモリがいっぱいです**］と表示された場合、メモリがいっぱいです。不要なファイルを消去してから録音をしてください。
- 本機では細かい入力レベルの調節はできません。外部機器を接続する場合、試し録音をして外部機器の出力レベルを調整してください。
- 本機で再生関連の各種音質設定を調整すると、**イヤホン**ジャックから出力される音声出力信号も変化します。

再生について

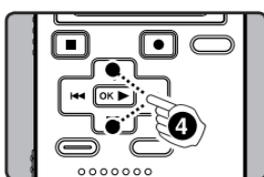
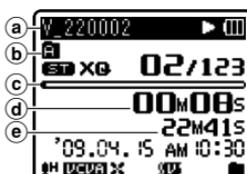
◆再生する

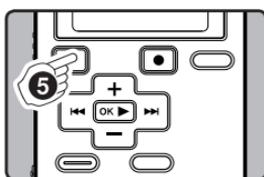
❶ 再生するファイルが収録されているフォルダを選ぶ

① 停止中または再生中にファイル表示画面で、リストボタンを押すと階層が1つ上に戻ります。リストボタンを繰り返し押して、フォルダリスト表示画面へ入ります。
② フォルダリスト表示画面で、**+**または**−**ボタンを押してフォルダを選び、**OK ▶**または**▶▶I**ボタンを押します。

❷ ファイルリスト表示画面で+または−ボタンを押して、再生したいファイルを選ぶ

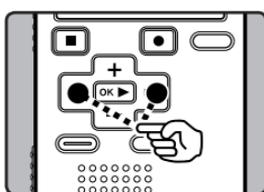
- ファイル表示画面では▶▶Iまたは I◀◀ ボタンを押して、ファイルを選んでください。

❸ OK ▶ボタンを押して、再生を開始する

- ディスプレイの［▶］が点灯します。

ⓐファイル名／ⓑフォルダ表示
ⓒ再生位置バー表示／ⓓ再生経過時間／ⓔファイルの長さ

❹ +または−ボタンを押して、聞きやすい音量にする

- ［**00**］～［**30**］の範囲で調整できます。数字が大きくなると音量が上がります。

❺ 停止■ボタンを押して再生を停止する

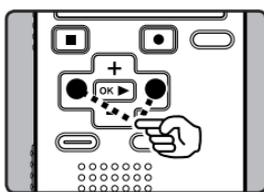
- ディスプレイの［■］が点灯します。
- 再生しているファイルの途中で停止します。レジューム機能が働き電源を切っても停止位置を記憶します。次に電源を入れたときに記憶した停止位置から再生できます。

◆早送り・早戻しをするには

ファイル表示画面で停止中に、▶▶Iまたは I◀◀ボタンを押し続ける。

- ボタンから手を離すと停止します。OK ▶ボタンを押すと、その位置から再生します。

再生中に▶▶Iまたは I◀◀ボタンを押し続ける。

- ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの途中にインデックスマークやテンプマークがついているときは、その位置でいったん停止します。
- ファイルの終わりまで進むといったん停止します。さらにボタンを押し続けると、次のファイルの先頭から早送りを続けます。

◆ファイルの頭出しをするには

停止中または再生中に▶▶Iボタンを押す。

- 次のファイルの頭出しをします。

再生中に I◀◀ボタンを押す。

- 再生中のファイルの頭出しをします。

停止中に I◀◀ボタンを押す。

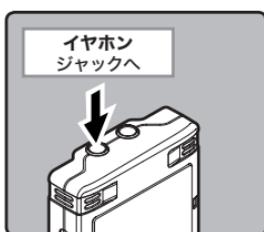
- 1つ前のファイルの頭出しをします。ファイルの途中で停止している場合、そのファイルの頭出しをします。

再生中に I◀◀ボタンを2回押す。

- 1つ前のファイルの頭出しをします。

ご注意：

- 再生中に頭出しをした場合、ファイルの途中にインデックスマークやテンプマークがついているときは、 その位置でいったん停止します。ただし、停止中に頭出しをした場合、インデックスマークやテンプマークの位置は飛び越されます。
- 再生中に頭出しをしたときに、［**スキップ間隔**］が［**ファイルスキップ**］以外に設定されている場合、設定時間分だけスキップまたは逆スキップして再生を開始します。

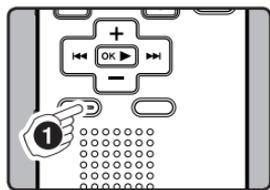
◆イヤホンで聞くには

本機の**イヤホン**ジャックにイヤホンを接続して聞けます。

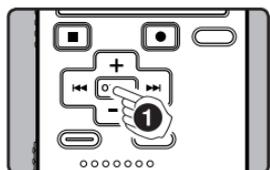
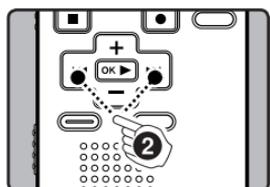
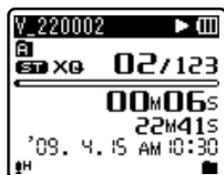
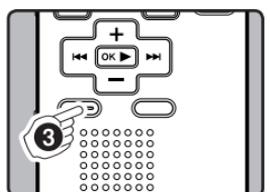
- イヤホンを接続すると、スピーカから音は出ません。

ご注意：

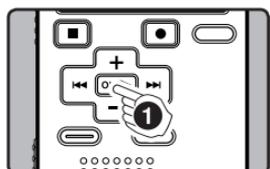
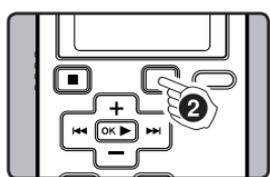
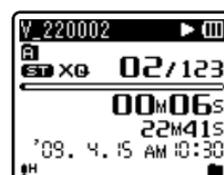
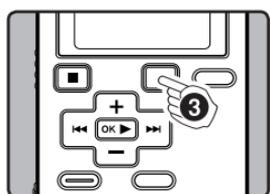
- 耳への刺激を避けるため、音量を［00］にしてからイヤホンを入れてください。
- 再生中イヤホンで聞く場合、音量をあまり上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。

◆インデックスマーク・テンプマークをつける

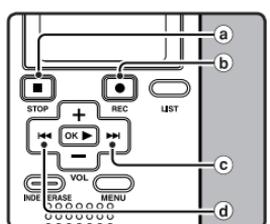
インデックスマークやテンプマークをつけると、早送り・早戻しやファイルの頭出し操作で、聞きたい位置をすばやく探すことができます。オリンパス製ICレコーダー以外の機器で作成されたファイルにはインデックスマークがつけられませんが、代わりにテンプマークをつけることで聞きたい位置の一時記憶ができます。テンプマークは一時的なマーキングなので、他のファイルへの移動、リスト表示画面への切り替え、パソコンとの接続などを行うと自動的に消去されます。

❶ 録音中または再生中に**インデックス/消去**ボタンを押す
- インデックス・テンプマークをつけた後も録音または再生は続きますので、同様の操作で別の場所にインデックス・テンプマークをつけることができます。

インデックスマーク・テンプマークを消去する：

❶ 消去したインデックスマークまたはテンプマークのあるファイルを再生する

❷ ▶▶|または|◀◀ボタンを押して、消去したいインデックスマークまたはテンプマークを選ぶ

❸ ディスプレイにインデックス番号またはテンプ番号が表示されている間（約2秒間）にインデックス/消去ボタンを押す
- インデックスマークまたはテンプマークが消去されます。
- 消去したインデックス・テンプマーク以降のインデックス・テンプ番号は自動的に繰り上がります。

ご注意：
- インデックスやテンプマークは1つのファイル内に最大で16件までつけることができます。16件を超えてインデックスやテンプマークをつけようとすると［**これ以上記録できません**］と表示されます。
- 消去ロックをかけてあるファイルは、インデックスやテンプマークをつけたり消去することができません。

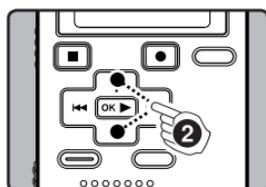
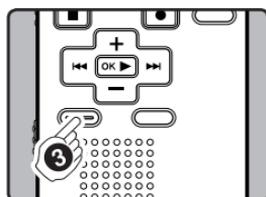
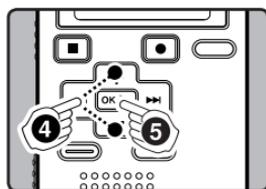
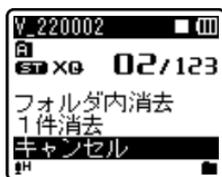
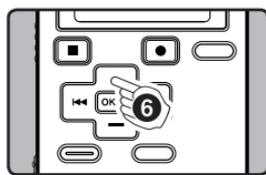
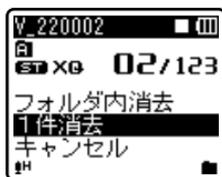
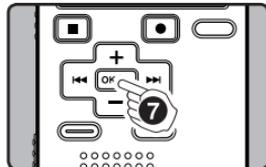
◆部分リピート再生のしかた

❶ OK ▶ボタンを押して、再生を開始する

❷ 部分リピート再生の開始位置で、録音●ボタンを押す
- ディスプレイの［A］が点滅します。
- この［A］の点滅中も通常の再生中と同じように再生スピードの切り替えや、早送り・早戻しが行え、終了位置まで早く進められます。
- ［A］の点滅中にファイルの終わりまで到達した場合、そこが終了位置になり、リピート再生を開始します。

❸ 部分リピート再生を終了させたい位置で、もう一度**録音●**ボタンを押す
- 部分リピート再生を解除するまで、繰り返し再生します。

ご注意：
- 部分リピート再生中も通常再生と同じように、再生スピードをかえることができます。また部分リピート再生中にインデックスマークやテンプマークの挿入・消去をした場合、部分リピート再生が解除され通常の再生に戻ります。

部分リピート再生を解除する：

下記のいずれかのボタンを押すと、部分リピート再生は解除されます。

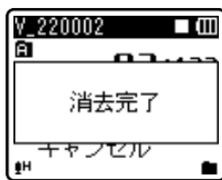
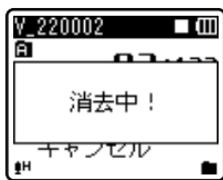
ⓐ **停止■**ボタンを押す。
ⓑ **録音●**ボタンを押す。
ⓒ **▶▶|**ボタンを押す。
ⓓ **|◀◀**ボタンを押す。

◆消去する

フォルダ内の消去したいファイルを消去できます。また、選んだフォルダ内のファイルすべてを消去できます。

❶ 消去したいファイルまたはフォルダを選ぶ

❷ ファイルリスト表示画面で＋または－ボタンを押して、削除したいファイルを選ぶ

❸ 停止中に**インデックス/消去**ボタンを押す

❹ ＋または－ボタンを押して、［**フォルダ内消去**］または［1件消去］を選ぶ

❺ OK ▶ボタンを押す

❻ ＋ボタンを押して、［**開始**］を選ぶ

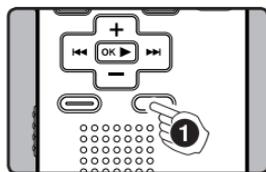
❼ OK ▶ボタンを押す

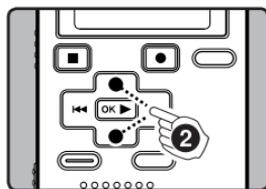
- ディスプレイが［**消去中**］にかわり、消去を開始します。［**消去完了**］と表示されたら終了です。

ご注意：

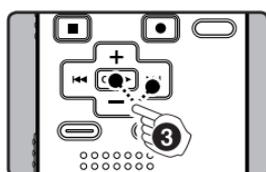
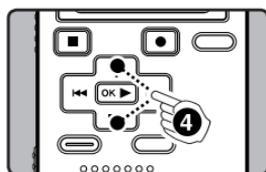
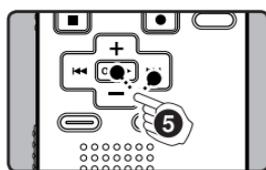
- 消去ロック設定のあるファイルや読み取り専用に設定されているファイルは消去されません。
- 選択画面で8秒間操作を行わないと停止状態に戻ります。
- 処理が完了するまで数十秒かかることがあります。その間は絶対に電池を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。
  また、処理中に電池が切れることのないように、新しい電池に交換してください。
- 本機ではフォルダは消去できません。

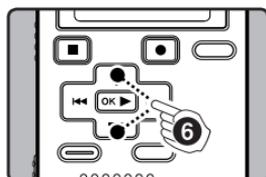
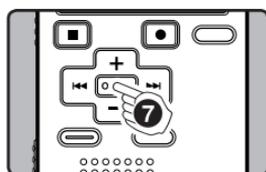
メニューについて

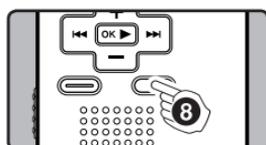
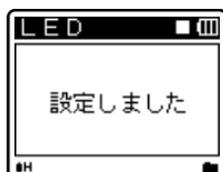
◆メニュー設定のしかた

メニュー内の各項目はタブによって分類されているので、タブを選んで項目を移動すれば、すばやく目的の項目が設定できます。メニューの各項目は次の方法で設定が可能です。

❶ 録音中、再生中または停止中に**メニュー**ボタンを押す

- 録音中または再生中に設定できるメニュー項目については、メニューの一覧をご覧ください。

❷ ＋または－ボタンを押して、設定したい項目のあるタブを選ぶ

- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

❸ OK ▶または▶▶Iボタンを押して、カーソルを設定項目へ移動せる。

❹ ＋または－ボタンを押して、設定項目を選ぶ

5 OK ▶または▶▶Iボタンを押す

- 選択した項目の設定に移動します。

6 ＋または－ボタンを押して、設定を変更する

7 OK ▶ボタンを押して、設定を完了する

- 設定が確定されたことを画面でお知らせします。
- **OK** ▶ボタンを押さずにI◀◀ボタンを押すと、設定がキャンセルされ、1つ前の画面に戻ります。

8 **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を終了する

- 録音中または再生中にメニュー画面に入った場合、I◀◀またはメニューボタンを押すと、録音または再生を中断させることなく再生画面に戻れます。

ご注意：

- 設定中に3分間何も操作しないと、停止状態に戻ります。この場合、選択途中の項目は設定されません。
- 録音または再生途中からの設定では、8秒間何も操作しないとメニュー機能はキャンセルされます。

◆ ファイルに関するメニュー設定

誤消去を防止する［Erase Lock］

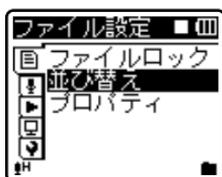
ファイルに消去ロックをかけることにより、重要なファイルの誤消去を防止できます。また、フォルダ内のファイル全消去を行っても消去されません。

モードの選択

［ON］：消去ロックがかかります。
［OFF］：消去ロックが解除されます。

曲順の並び替えをする［Replace］

フォルダ内にあるファイルの再生順を変更できます。あらかじめ再生順を変更したいフォルダ（ファイル）を選択しておきます。

1 **［並び替え］**を選び、OK ▶または▶▶Iボタンを押す

2 ＋または－ボタンを押して、移動したいファイルを選び、OK ▶または▶▶Iボタンを押す

- カーソルが点滅表示し移動対象ファイルとして確定します。

3 ＋または－押して、移動したい場所を選び、OK ▶ボタンを押す

- 引き続き並び替えたいファイルがある場合、再度手順**2**～手順**3**の操作を行ってください。

ファイルやフォルダの情報を見る［Property］

情報を見る前に、ファイルまたはフォルダを選んでからメニュー操作を行います。

ファイルを選んだ場合

［名前］［日時］［サイズ］［ビットレート］が表示されます。

フォルダを選んだ場合

［名前］［ファイル数］が表示されます。

◆ 録音に関するメニュー設定

録音モードの設定［Rec Mode］：

ステレオまたはモノラルの録音方式の選択のほか、音質を重視して録音したり録音時間を重視して録音できます。目的に合わせて録音モードをお選びください。

モードの選択

［ステレオXQ］超高音質録音、［ステレオHQ］ステレオ高音質録音、［ステレオSP］ステレオ標準録音、［HQ］：モノラル高音質録音、［SP］モノラル標準録音、［LP］モノラル長時間録音

ご注意：
- 会議や講演会などをはっきりと録音したい場合、［**録音モード**］を［**LP**］以外に設定して録音してください。
- ［**録音モード**］をステレオ録音方式に設定して録音すると、モノラルマイクを接続した場合、Lチャンネルのみに音声が録音されます。

ローカットフィルタの設定［Low Cut Filter］

録音時に低周波音をカットし、音声をよりクリアに録音するローカットフィルタ機能を搭載しています。エアコンの空調音やプロジェクターなどのノイズを低減できます。

モードの選択

［**ON**］：ローカットフィルタが機能します。
［**OFF**］：機能しません。

音声起動録音の設定［VCVA］

音声起動録音（VCVA）とは、設定した音声起動レベルよりも大きな音声を感知すると自動的に録音が始まり、音声が小さくなると自動的に録音を一時停止する機能です。会議中の長い沈黙などを自動的にカットして録音することによりメモリを節約することができます。

モードの選択

［**ON**］：VCVAが機能します。VCVAの音声起動レベルは調整できます。
［**OFF**］：機能しません。通常の録音に戻ります。

音声起動レベルの調整

1 録音●ボタンを押して、録音を開始する
- VCVA録音をする場合、［**VCVA**］を［**ON**］に設定します。
- 設定した起動感度より音が小さくなると約1秒後に自動的に録音がいったん停止します。このときディスプレイに［**待機中**］が点滅します。録音起動中は録音表示ランプが点灯し、いったん停止すると点滅します。

2 ►►Iまたは I◄◄ボタンを押して音声起動レベルを調整する
- ディスプレイにVCVAの音声起動レベルを15段階（［01］～［15］）で表示します。
- 数字が大きくなるほどVCVAの起動感度は高くなり、小さな音でも録音が始まるようになります。

ⓐ レベルメータ（録音音量に合わせて変化します）
ⓑ 音声起動レベル（設定レベルに応じて左右に動きます）

ご注意：
- 音声起動レベルは設定されているマイク感度により異なります。
- 音声起動レベルの調節は2 秒以内に行わないと表示が元に戻ります。
- まわりの雑音が大きいなど、録音状況に応じてVCVA の音声起動レベルを調整できます。
- 失敗のない録音を行うために、事前に試し録音で音声起動レベルを調節することをおすすめします。

◆再生に関するメニュー設定

音声フィルタの設定［Voice Filter］

再生または早聞き・遅聞き再生時に、低音域と高音域成分をカットし、音声をよりクリアに強調する音声フィルタ機能を搭載しています。

モードの選択

［**ON**］：音声フィルタが機能します。
［**OFF**］：機能しません。

再生モードを選ぶ［Play Mode］

お好みに合わせて再生モードをお選びいただけます。

モードの選択

［**ファイル**］：現在のファイルを再生後に停止。
［**フォルダ**］：現在のフォルダ内の最終ファイルまで連続再生して停止。

ご注意：
- ［**ファイル**］を設定した状態で、フォルダ内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに［**ファイルエンド**］が2秒間点滅し、最終ファイルの開始位置で停止します。
- ［**フォルダ**］を設定した状態で、フォルダ内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに［**ファイルエンド**］が2秒間点滅し、フォルダ内にある先頭ファイルの開始位置で停止します。

再生スピードの設定［Play Speed］

再生スピードは［**遅聞き再生**］および［**早聞き再生**］それぞれに設定できます。会議の内容を早聞きしたり、語学学習で聞き取れなかった箇所を遅聞きするなど、必要に応じて切り替えてください。

モードの選択

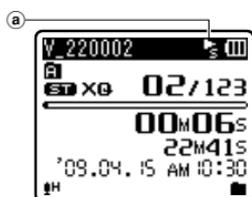
［**遅聞き再生**］を選んだ場合：
［**0.875倍速**］［**0.75倍速**］［**0.625倍速**］［**0.5倍速**］
［**早聞き再生**］を選んだ場合：
［**2.0倍速**］［**1.5倍速**］［**1.375倍速**］［**1.25倍速**］［**1.125倍速**］

遅聞き・早聞き再生のしかた

1 OK ►ボタンを押して、再生を開始する
2 OK ►ボタンを押して、再生スピードを切替える
- **OK ►**ボタンを押すたびに再生スピードが切り替わります。
  通常再生：普通の再生スピードです。
  遅聞き再生：再生スピードが遅くなり、ディスプレイの［S］が点灯します。
  早聞き再生：再生スピードを早くなり、ディスプレイの［F］が点灯します。

ⓐ 再生スピード表示

- 再生を停止しても、変更した再生スピードはそのまま保持されます。次回の再生では変更した早さで再生を行います。

ご注意：
- 早聞き・遅聞き再生時でも、通常の再生と同じように、再生の停止、ファイルの頭出し、インデックス・テンプマークの挿入などの操作ができます。

スキップ間隔の設定［Skip Space］

スキップの間隔は［**スキップ**］および［逆**スキップ**］それぞれに設定できます。再生中のファイルを設定した間隔だけスキップ（送る）または逆スキップ（戻る）して再生することができる機能で、再生位置をすばやく移動したり、短いフレーズを繰り返し再生するときなどに便利です。

モードの選択

［**スキップ**］を選んだ場合：
　［**ファイルスキップ**］［**10秒**］［**30秒**］［**1分**］［**5分**］［**10分**］

［**逆スキップ**］を選んだ場合：
　［**ファイルスキップ**］［**1秒**］～［**5秒**］［**10秒**］［**30秒**］［**1分**］［**5分**］［**10分**］

スキップ・逆スキップ再生のしかた

❶ OK ►ボタンを押して、再生を開始する

❷ 再生中に►►Iまたは I◄◄ボタンを押す

- 設定した間隔でスキップまたは逆スキップして再生を開始します。

ご注意

- スキップ間隔より近い位置にインデックスマーク・テンプマーク、頭出し位置がある場合、その位置にスキップ・逆スキップします。

◆ディスプレイや音に関するメニュー設定

バックライトの設定［Backlight］

バックライトは［**点灯時間**］および［**輝度設定**］を設定できます。ボタンを押すたびにディスプレイのバックライトが約10秒間（初期設定）点灯するので、暗いところでも表示が確認できて便利です。

モードの選択

［**点灯時間**］を選んだ場合：
　［**OFF**］：バックライトは点灯しません。
　［**5秒**］［**10秒**］［**30秒**］［**1分**］：バックライトの点灯時間を設定します。

［**輝度設定**］を選んだ場合：
　［**HIGH**］：バックライトが明るく点灯します。
　［**LOW**］：バックライトが通常の明るさで点灯します。

ディスプレイのコントラストの設定［Contrast］

ディスプレイのコントラストを12段階に調整できます。

LED の設定［LED］

LED表示ランプを点灯しないように設定できます。

モードの選択

［**ON**］：LEDが点灯します。
［**OFF**］：LEDは点灯しません。

ビープ音の設定［Beep］

本機はボタン操作を知らせたり誤操作を警告したりするときにビープ音が鳴ります。ビープ音を出したくないときは鳴らないように設定することもできます。

モードの選択

［**ON**］：ビープ音が機能します。
［**OFF**］：機能しません。

言語の設定［Language(Lang)］

本機は日本語表示と英語表示のどちらかを選べます。
ご注意：

- 表示言語を切り替えても、すでに入力してあるフォルダ名やファイル名の言語はかわりません。

◆本体に関するメニュー設定

設定をリセットする［Reset Settings］

各種機能を初期設定（工場出荷時）に戻します。

録音設定

メニュー項目	初期設定
［録音モード］	［ステレオXQ］
［ローカットフィルタ］	［OFF］
［VCVA］	［OFF］

再生設定

メニュー項目	初期設定
［音声フィルタ］	［OFF］
［再生モード］	［ファイル］
［再生スピード］	遅聞き再生［0.75倍速］ 早聞き再生［1.5倍速］
［スキップ間隔］	スキップ再生［ファイルスキップ］ 逆スキップ再生［ファイルスキップ］

表示 / 音設定

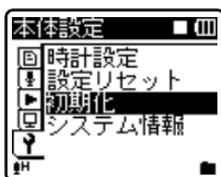
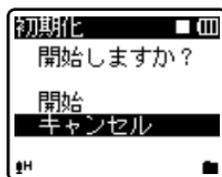
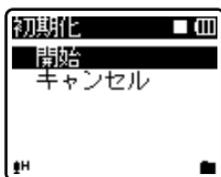
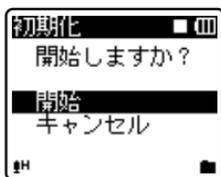
メニュー項目	初期設定
［バックライト］	点灯時間［10秒］ 輝度設定［LOW］
［コントラスト］	［06］
［LED］	［ON］
［ビープ音］	［ON］
［言語選択］	［日本語］

ご注意：

- 設定リセット後の時計設定やファイル番号については、初期設定には戻らず設定リセット前の設定を保持します。

初期化する［Format］

初期化すると記録されているファイルはすべて消去されます。大切なファイルはパソコンに転送してから初期化してください。

❶ **+またはーボタンを［初期化］を選び、OK ▶または▶▶Iボタンを押す**

❷ **+ボタンを押して、［開始］を選び、OK ▶ボタンを押す**
- ［**データが完全に消去されます**］が2秒間表示され、［**キャンセル**］が点灯します。

❸ **+ボタンを押して、もう一度［開始］を選び、OK ▶ボタンを押す**
- ［**初期化中**］が表示され、初期化が開始されます。
- ［**初期化完了**］が点滅したら初期化終了です。

ご注意：
- 処理が完了するまで数十秒かかることがあります。その間は絶対に電池を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。
  また、処理中に電池が切れることのないように、新しい電池に交換してください。
- 本機をパソコンから初期化することは絶対にしないでください。
- 初期化をすると、消去ロックをかけたファイルや読み取り専用ファイルを含む既存のデータはすべて消去されます。
- 初期化後、録音した音声ファイルは、ファイル名が［**0001**］からとなる場合があります。
- 各種機能の設定を初期設定に戻す場合、［**設定リセット**］を操作してください。

システム情報を見る［System Info.］

メニュー画面から本機の情報を確認できます。
［**モデル名**］［**容量**］［**バージョン**］［**シリアル番号**］が表示されます。

本機をパソコンでお使いいただくためには

本機は音声レコーダーとしての使いかたのほかに、パソコンの外部メモリとして、パソコンからのデータ保存や読み出しにもご使用できます。
- 本機で録音した音声ファイルをパソコンにバックアップ、保存することができます。
- パソコンの画像やテキストデータなどを本機に保存することができます。
- 本機はWMA（Windows Media Audio）形式で録音を行います。
- 本機で録音した音声ファイルは、パソコン上ではWindows Media Player／Windows Media Player for Macを使って再生できます。

ご注意：
- データ通信中は［**データ送信中**］または［**データ受信中**］と表示され、録音表示ランプが点滅します。録音表示ランプが点滅中は、絶対にUSB接続を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。
- Mac OSの標準環境では、WMA形式のファイルは再生できません。

◆パソコンの動作環境

Windows：

OS（オペレーティングシステム）：
Microsoft Windows 2000/XP/Vista 標準インストール（日本語版）

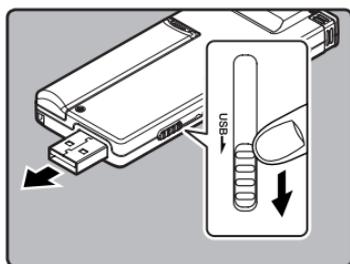
対応パソコン:
1つ以上空きのあるUSBポートを装備したWindows対応パソコン

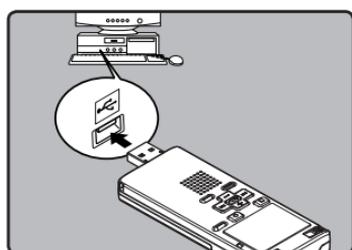
Macintosh：

OS（オペレーティングシステム）：
Mac OS X 10.2.8～10.5 標準インストール（日本語版）

対応パソコン:
1つ以上空きのあるUSBポートを装備したApple Macintoshシリーズ

ご注意：
- 動作環境を満たしていても、OSをアップグレードしたもの、マルチブート環境、自作パソコン、NEC PC-98シリーズとその互換機については動作保証外とさせていただいています。

◆パソコンに接続する

❶ パソコンを起動する

❷ USB端子スライドレバーを矢印の方向へスライドさせ、本機のUSB端子を本体から引き出す

❸ パソコンのUSBポートまたはUSBハブに接続する

Windows：

［**マイコンピュータ**］を開くと、製品名のドライブ名で認識されます。

Macintosh：

Mac OSに本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。

- USB接続中は、ディスプレイに［**PCと接続中です**］と表示されます。

ご注意：

- パソコンのUSBポートについては、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- USBコネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていない場合、正常に動作しません。
- 必要に応じ、USB延長ケーブルKP19（別売）をご使用ください。
- USBハブを経由して本機を接続すると、動作が不安定になることがあります。この場合は、USBハブを使用しないでください。

パソコンから取り外す：

Windows：

❶ 画面右下のタスクバーの［ ］をクリックし、［**USB大容量記憶装置デバイスードライブを安全に取り外します**］をクリックする

お使いのパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります。

❷ ハードウェアの取り外しウィンドウが表示されたら［OK］をクリックする

❸ 本機をパソコンから取り外す

Macintosh：

❶ デスクトップに表示されている本機のドライブアイコンを、ドラッグ&ドロップでゴミ箱に移動する

- Mac OSに本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。

❷ 本機をパソコンから取り外す

ご注意：

- 録音表示ランプが点滅中は、絶対にUSB接続を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

安全に正しくお使いいただくために

お読みになった後は、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。

- **安全に関する重要事項は、以下の表示と文章で示されます。あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、必ず守ってください。**
- **表示の意味は、次のようになっています。**

⚠ 危険	この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。
⚠ 警告	この記号は、決してしてはいけない「禁止」内容を表しています。図または文章で具体的な禁止内容を示します。
⚠ 注意	この記号は、必ず実行していただく「強制」内容を表しています。

⃠	この記号は、決してしてはいけない「禁止」内容を表しています。図または文章で具体的な禁止内容を示します。
❗	この記号は、必ず実行していただく「強制」内容を表しています。

電池について

⚠ 危険

⃠ 火の中への投入、加熱、⊕と⊖極間のショート、分解をしないでください。

火災・破裂・発火・発熱の原因となります。

⃠ 直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置しないでください。

液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・やけど・けがの原因となります。

⚠ 警告

⃠ 直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしないでください。

⃠ ⊕と⊖端子を接続しないでください。

発熱や感電・火災の原因になります。

❗ 電池を持ち運んだり、保管する際は必ずケースに入れて、端子部分を保護してください。キーホルダーなどの貴金属と一緒に、携帯・保管しないでください。

発熱や感電・火災の原因になります。

⃠ 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口などに直接接続しないでください。

⃠ 電池の極性（⊕と⊖）を逆に入れないでください。

電池は、液漏れ、発熱、発火、破裂する恐れがあります。

- 外装シール（絶縁被覆）の破れた電池を使わないでください。
- 長期間使用しないときは、必ず電池を取り出して保管してください。
- 使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自治体の指示にしたがって廃棄してください。
- 使えなくなった電池は速やかに本機から取り出してください。液漏れの恐れがあります。

❗ 電池の液が目に入った場合は失明の恐れがありますので、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。

⃠ 充電できないアルカリ電池、リチウム電池などを充電しないでください。

⃠ 電池は幼児・子供の手の届くところに置かないでください。

電池は幼児・子供が飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

❗ 万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、

① けがをしないように注意しながら速やかに電池を抜いてください。

② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。放置すると火災や火傷の原因となります。

⃠ 水や海水などにつけたり、端子部を濡らさないでください。

⃠ 液漏れ、変色、変形、その他異常が発生した場合は、使用を中止してください。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

火気のある場所に電池を置かないでください。

⚠ 注意

電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。

充電池をはじめてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用の前に必ず充電してください。

充電池には寿命があります。指定する条件で充電しても使用時間が短くなったときは寿命と判断し、新しい充電池と取り替えてください。

本機について

⚠ 警告

分解、修理、改造をしないでください。
感電やケガの恐れがあります。

車両（自転車、バイク、車など）の運転をしながら操作しないでください。
交通事故などの原因となります。

この製品を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。
幼児、子供の近くで使用するときは細心の注意を払い、不用意に製品から離れないでください。幼児、子供には警告・注意の内容の理解ができませんし、加えて以下のような事故の恐れがあります。例えば
- 誤ってイヤホンコードを首に巻き付け、窒息する。
- 操作を誤りケガや感電事故などを起こす。

水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、
① 速やかに電池を抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

航空機内や病院など使用に制限のある場所でのご使用をお避けになるか、その場所の指示にしたがってください。

⚠ 注意

操作前から、音量を上げないでください。
聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。

故障かな？と思ったら

Q-1 **操作を受けつけない。**
A-1 **ホールド**スイッチが［**ホールド**］側になっていませんか?
電池が消耗していませんか?
電池は正しく入っていますか?

Q-2 **再生してもスピーカーから音が聞こえない、音が小さい。**
A-2 イヤホンジャックにイヤホンが接続されていませんか?
ボリュームボタンの操作で適切な音量に調節してありますか?

Q-3 **録音できない。**
A-3 本機が停止中に**停止■**ボタンを押し続けると、
・ 録音可能時間がゼロになっていませんか?
・ ファイル件数が200件になっていませんか?
録音●ボタンを押すと［**メモリがいっぱいです**］と表示されませんか?

Q-4 **再生の速度が早い（または遅い）。**
A-4 早聞き再生（または遅聞き再生）になっていませんか?

◆ アフターサービスについて

お買い上げいただきました本機を安心してご愛用いただくために当社では、次のアフターサービス体制をとっております。 ユーザー登録を行っていただくと、各種サービス情報をお届けできます。
http://olympus-imaging.jp/からお願いします。

● **オリンパスホームページ：**
http://www.olympus.co.jpで
ICレコーダー（ボイストレック）および関連製品の技術情報を提供しております。

● **製品に関するお問い合わせは：**
オリンパスカスタマーサポートセンター
Tel：☎ 0120－084215／携帯電話・
PHS：042－642－7499
Fax：042－642－7486

※ カスタマーサポートセンター・修理センターおよびサービスステーションの営業日・営業時間、最新情報についてはオリンパスホームページ
http://www.olympus.co.jp/ から
「お客様サポート」のページをご参照ください。

● **修理に関するお問い合わせは：**
お買い上げ店か、お近くのオリンパスサービスステーションにお問い合わせください。当社では本機の補修用修理部品は、製造打ち切り後6年間をめやすに保有しております。したがいまして上記期間中は、原則として修理をお受けいたします。また期間後であっても修理可能の場合もあります。なお保証期間経過後の修理は有料となります。また、保証期間中でも運賃など諸費用は、お客様にご負担をお願いいたします。製品を送る場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。

主な仕様

記録形式：
WMA（Windows Media Audio）形式

録音時間（めやす）：
［**ステレオ XQ**］：17時間20分
［**ステレオ HQ**］：34時間45分
［**ステレオ SP**］：69時間35分
［**HQ**］：69時間35分
［**SP**］：137時間00分
［**LP**］：272時間25分

- 小刻みに録音を繰り返したときは、録音可能時間がこれより短くなる場合があります（録音可能時間および録音時間表示はめやすとしてお使いください）。
- 1ファイルあたりの最長録音時間は、各モードで定められています。本機にメモリ残量があっても、下記の時間を超える連続録音はできません。

1ファイルあたりの最長録音時間
［**ステレオ XQ**］：約26時間40分
［**ステレオ HQ**］：約26時間40分
［**ステレオ SP**］：約53時間40分
［**HQ**］：約26時間40分
［**SP**］：約53時間40分
［**LP**］：約148時間40分

電池持続時間（めやす）：
内蔵ステレオマイク録音時
［**ステレオ XQ**］：15時間30分
［**LP**］：21時間

音声ファイル再生時（全再生モード）
アルカリ乾電池
内蔵スピーカー再生時：12時間
イヤホン再生時：26時間
ニッケル水素充電池
内蔵スピーカー再生時：12時間
イヤホン再生時：22時間

スピーカ実用最大出力：
60 mW（スピーカ8Ω）

スピーカ：
φ16 mm丸型ダイナミックスピーカ内蔵

マイクジャック：
φ3.5 mm インピーダンス2kΩ

イヤホンジャック：
φ3.5 mm インピーダンス8Ω以上

電源：
規定電圧：1.5 V
電池：単4形乾電池1本（LR03）または
オリンパス製ニッケル水素充電池1本

外形寸法：
94.8 mm×38 mm×11 mm
（最大突起部含まず）

質量：
46 g（電池含む）

使用温度：
0～42℃

同梱品：
本体／単4形乾電池1本×1／イヤホン／
取扱説明書（保証書付）

ご注意：
- 上記の値はあくまでめやすです。
- 電池持続時間は当社試験法によるものです。使用電池、使用条件により大きく変ります。
- お客様が録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- お客様が紛失された同梱品を再度必要とされる場合には、有料でのご購入となりますので、大切に保管してください。